

# 大学との連携による ER 型救急システムの構築

## 施策のポイント

岡山地域における最適な救急医療体制の確立のため、全国的にも極めて例が少ない救急医の3交替制によるER型救急システムの構築を、地域医療や教育・研究の中核的存在である岡山大学との強固な連携体制のもとで進めている。

### 自治体情報

岡山県岡山市

人口 / 699,160人

標準財政規模 / 159,056,968千円

担当課 企画局

電話番号 直通086-803-1040 代表086-803-1000 内線3587

実施主体 岡山市

関連ホームページ <http://www.city.okayama.jp>

事業期間 平成21年度から

参考とした施策

関係施策分類

## 施策の概要

### 1 取組に至る背景・目的

岡山地域の医療は、比較的恵まれた医療資源により維持されてきたが、近年、救急患者が急増し、対応が求められている。このため、大学と連携したER型救急システムの構築を進めるとともに、他の医療機関との連携を促進することにより、岡山地域における最適な救急医療体制の確立を目指すこととした。

### 2 取り組みの具体的内容

#### (1) 大学との保健医療連携に関する協定締結

H21年3月、ER型救急システムの構築、大学病院とERの救急医療連携、寄付講座の開設などの連携事業を盛り込んだ協定を岡山大学と締結した。

#### (2) (仮称)岡山総合医療センター基本構想の策定

岡山大学との連携協議を踏まえ、H22年2月、市として、岡山ER等を機能の柱とする、(仮称)岡山総合医療センター基本構想を策定した。

#### (3) 寄付講座の開設

H22年4月、ER型救急システムの研究や救急医等の養成などを目的とした地域医療学講座が、岡山市の寄付により岡山大学に開設された。

### 3 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

岡山ERと岡山大学病院をはじめとした各医療機関の連携により、岡山地域における最適な救急医療体制の構築を進め、市民の安全と安心を支える。

### 4 現在までの実績・成果

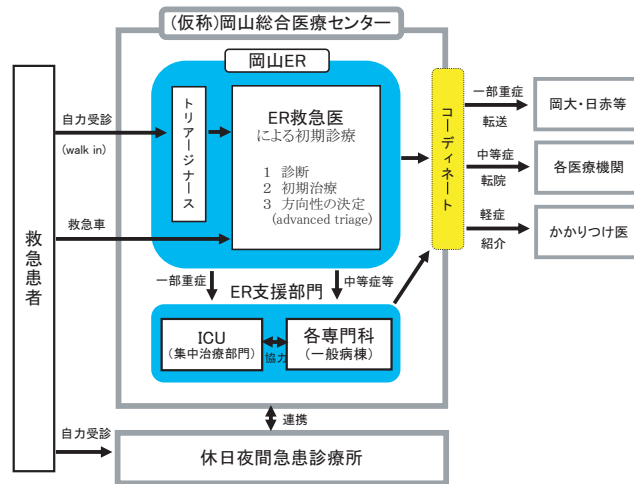
H22年4月から、現市民病院を臨床の場として寄付講座が開設され、ER型救急システム導入のための院内体制の整備や救急医などの養成を開始し、(仮称)岡山総合医療センターの「岡山ER」構築に向けた準備を進めている。

## 5 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

ER型救急システム導入には、ER型救急医の確保が課題となるため、岡山大学との強固な連携体制の構築が不可欠であり、2年に渡る精力的な協議が必要であった。

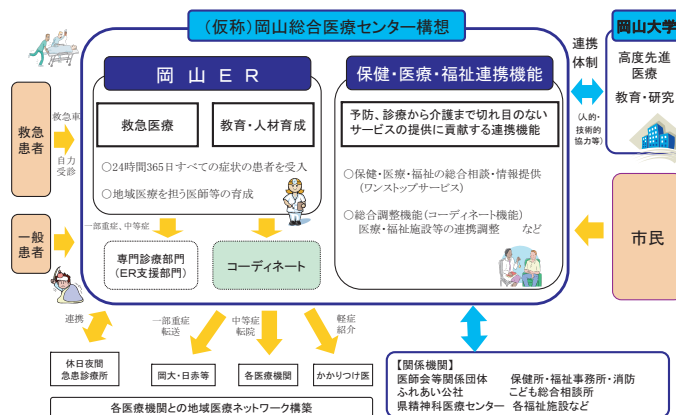
## 6 今後の展開と課題

岡山ERは、他の医療機関との連携を重視しており、連携の体制づくりが課題となっている。また、H22年度、センターの整備に向け、基本計画策定作業を進めている。



岡山ERの救急システム

### (仮称)岡山総合医療センター構想のイメージ



## 予算関連データ

総額 ①～⑤の計		財源内訳 (財源区分: ①～⑤)				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
4,788千円		0千円	0千円	0千円	0千円	4,788千円
①～④の名称、 所管など	名称					/
	所管					
	金額					
	補助率					

提供可能資料：(仮称)岡山総合医療センター基本構想